

赤潮・貧酸素情報（３）

平成３０年１２月４日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

１２月３日に調査を行った結果、北九州市門司区井ノ浦港で、有害プランクトンであるヘテロシグマ アカシオ (*Heterosigma akashiwo*) による赤潮の発生とシャットネラ マリナ (*Chatonella marina*) の増殖が確認されました。

○ヘテロシグマ・アカシオ細胞密度

採水場所	採水層 (m)	ヘテロシグマ・アカシオ (細胞数/海水1ml)	シャットネラ・マリナ (細胞数/海水1ml)
井ノ浦港奥部	0 m	48,500	32

- ヘテロシグマ・アカシオは、豊前海で主に５～６月頃に発生し、10,000細胞/ml以上で魚がへい死することがあります。
- シャットネラは、赤潮状態に達しない少ない細胞数でも、魚類などをへい死させます。
- 漁獲物の港内での蓄養は避け、早めの出荷を心がけてください。
- 今後も、天候次第ではさらに増殖する可能性がありますので、着色が認められていない港でも十分注意してください。
- 研究所では、引き続き調査を実施しますので、今後の赤潮情報に十分ご注意下さい。

今後、漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所(0979-82-2151、担当：恵崎、俵積田)までご連絡下さい。

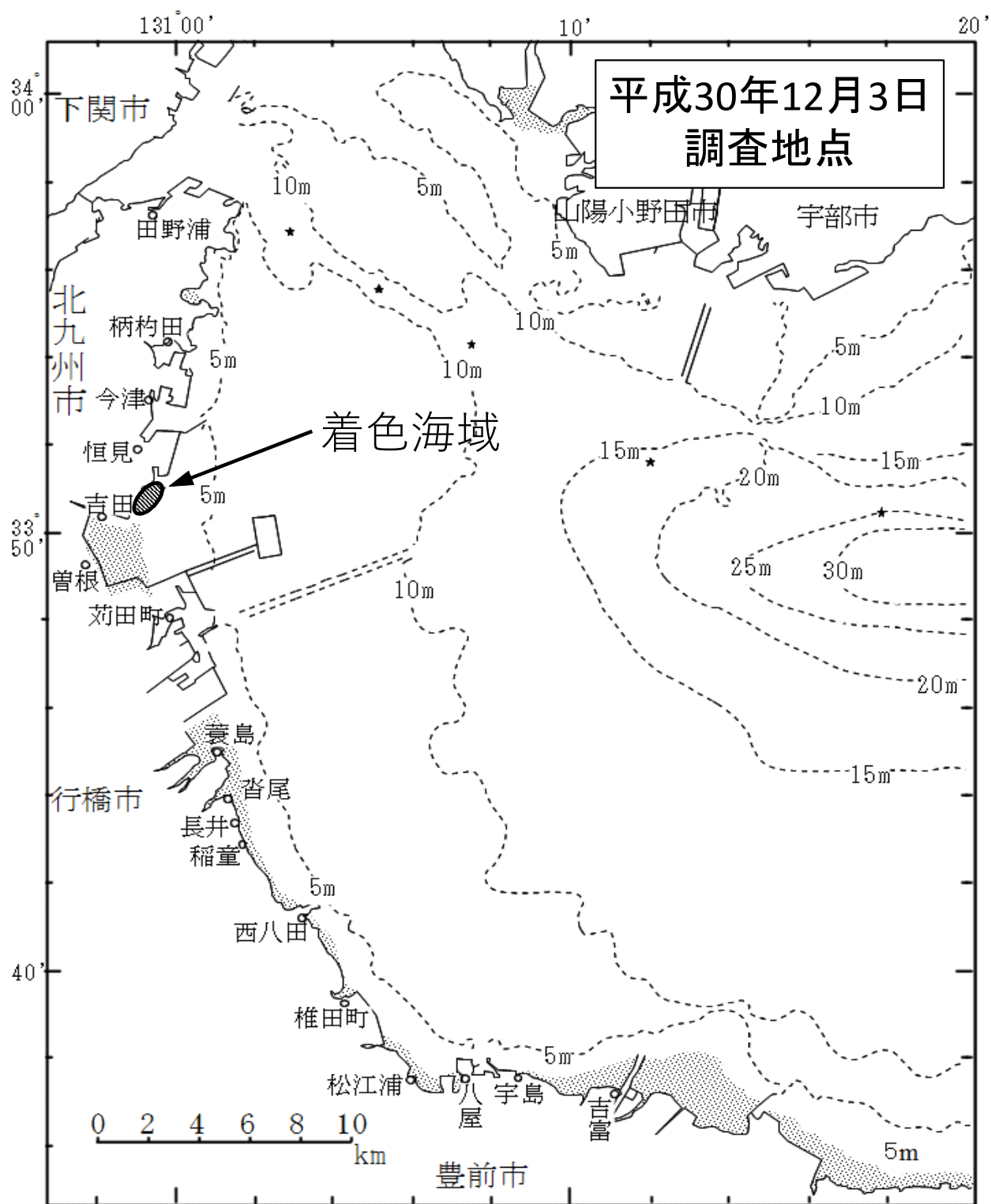


図 赤潮発生海域図